

令和8年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	59	学校名	高山工業高等学校
------	----	-----	----------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	飛驒の匠の技術を支える工業高校として ものづくりの基礎基本や深い教養を身に付け、地域と連携・協働した実践的な学びを通して 豊かな人間性を持ち、地域産業に貢献できる人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	確かな学力、健やかな体、豊かな心を育み、社会の変化に対応可能なゆるぎない知識や技術で、地域の将来を担うエンジニアリーダーを育成します。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【G P】	<ul style="list-style-type: none"> ・自信と誇りを身に付け、自分で考えて行動し、向上心を持って技術で地域社会を支える生徒 ・他者を尊重し他者と協働して、良好な人間関係を築き、社会から信頼される生徒 ・地元を愛し、積極的に課題解決に取り組み、地域や社会に貢献できる生徒 	
	生徒をどう 育てるか 【C P】	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を発見し解決する力を育成するための、「基礎的・主体的」な学びの推進 ・地域素材や地域資源を生かし、地域と連携した「体験的・実践的」な学びによるキャリア教育の充実 ・生徒一人ひとりの個性を伸ばし、ものづくりを通じた専門的な学習による「先進的・探究的」な学びを実現するカリキュラムの編成と、個に応じたきめ細やかな指導の実施 	
	どんな生徒を 待っているか 【A P】	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに興味があり、仲間と協力しながら共に知識を深め技術を高める意欲のある生徒 ・自ら将来を切り拓く目標を探り、その実現に向かって積極的にチャレンジする生徒 ・専門性を生かした地域と連携した活動、生徒会活動や部活動等に積極的に参加し、活気ある学校を築こうとする意欲のある生徒 	
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識や技術で地域に貢献する専門的職業人に必要な、基礎学力の確実な定着 ・ICTを効果的に活用した、個別最適化な学び・授業改善の実践 ・個に応じた共感的な指導及び外部と連携・協働した支援と、より良い人間関係を構築できる生徒の育成 ・「ものづくり」を通じた地域連携活動の推進と、地域と一体となった専門職業人の育成 ・本校の特色や魅力を高める学校経営 		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・自信と誇りを身に付けた将来の地域産業を担う専門的職業人育成のため、地域や産業界と連携した活動を推進する。 ・総合工学科群の特色と魅力を地域に発信し、地域に必要とされる学校を目指す。 ・教職員の資質・指導力の向上に資する研修を充実するとともに、働き方改革、働きやすい職場環境づくりを推進する。 	
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した個別最適化な学び等によって、学習意欲を高め主体的な学習態度を育成する。 ・少人数・習熟度別授業の実施や、学習状況や進路に応じた教科指導を実施し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。 ・地域連携による多様な課題解決学習によって、協働的・探究的な学びを推進する。 	
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のコミュニケーション能力や自己表現力等の人間関係形成能力を育成する。 ・教育活動全般を通して規範意識を高め、豊かな心と望ましい道徳性と自己指導力を涵養する。 ・発達状況や特性等に応じた指導に努め、外部の専門機関等と協働し自律できる生徒支援を充実する。 	
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的・実践的な活動を通じて、自己の能力・適正について理解を深めるキャリア教育を推進する。 ・外部資源を活用した工業の高い専門性を育む教育を推進し、将来の産業を担う専門的職業人を育成する。 ・多様な進路実現能力に対応した支援を推進する。 	
教育職員の業務量管理・健康確保措置の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外在校等時間の上限を超えた場合の事後検証の実施 ・安全衛生委員会による健康増進等に向けた取組の充実 		

年 度 目 標				年 度 末 評 価 (自 己 評 価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学校経営	地域資源の活用や産業界と連携した実践的・体験的な教育活動	施策Ⅱ-13	地域産業探求型推進事業の実施状況 生徒アンケート問2 [95%] 定員充足率 [100%]				
	総合工学科群と工業専門教育のカリキュラム充実	施策Ⅱ-14	新聞等の掲載数				
	新聞等の報道機関やリーフレット、SNSを活用した、多様な広報活動	施策Ⅱ-14	時間外在勤の減少 環境改善件数				
	働き方改革意識向上と、働きやすい職場環境の整備	施策Ⅳ-27					
学習指導	課題解決策を多面的・多角的に分析、検討、提案できる能力のための、基礎的な知識・技術の習得	施策Ⅰ-4	スタディサプリ活用状況 授業アンケート				
	学習支援サービスやステップアップ講座・ハイレベル講座等の個別最適な学習の実施	施策Ⅱ-9	到達度テスト状況 授業アンケート				
	課題研究を中心とする、地域と連携・協働した探究活動の推進	施策Ⅰ-4	卒業作品展アンケート				
	公開授業・研究授業・職員研修の充実と、指導と評価の一体化等による学習・指導方法改善の推進	施策Ⅱ-8	研修回数や参加状況 授業アンケート				
生徒指導	挨拶活動、集団行動、身だしなみ自己チェック等による自己指導能力の育成	施策Ⅰ-3	実施回数、状況 アンケート				
	演劇ワークショップ、防犯講話等の外部指導者の活用	施策Ⅰ-1	実施回数 アンケート				
	地域や異種校と連携・協働した活動の推進	施策Ⅰ-1	交通安全 挨拶				
	スクールカウンセラーや外部機関との連携・協働した支援	施策Ⅰ-3	実施回数、参加人数 実績				
進路指導	キャリアパスポートを活用した能力や適性理解支援	施策Ⅱ-13	キャリアパスポート活用状況				
	地域の産業界や関係機関と連携した進路支援の実施	施策Ⅱ-13	関連活動実施状況 生徒アンケート問21[95%]				
	生徒会活動や部活動、検定や高度な資格取得や体験型研修への積極的な参加啓発	施策Ⅱ-10	部活動加入状況 資格取得状況				
	進学指導の充実	施策Ⅱ-10	ガイダンス等参加状況				